



マレーシア工科大学

University of Technology, Malaysia (UTM)

シンガポールとの国境に近接するジョホールバル市に
所在するマレーシア屈指の名門国立大学。



実施大学	実施形態	日程	募集人数	クラス分け	英語力目安 (TOEIC換算)	宿泊形態	通学方法	プログラム費用に 含まれる食事	プログラム費用 (万円)	奨学金 最大額 (万円)	自己負担金額 (万円)
マレーシア工科大学 (UTM) 	カスタム	2/21(水)～ 3/6(火)	60	無	300 ～600	大学寮	徒歩・循環バス	平日の朝食 3/5(月)の昼食	33	7	26

【フライトスケジュール(予定)】

【行】2/21 NH843 (ANA) 羽田/シンガポール 0035/0700 シンガポールからマレーシア(ジョホールバル)へ移動

【帰】3/5 NH844 (ANA) シンガポール/羽田 2220/0555 (3/6着) マレーシア(ジョホールバル)からシンガポールへ移動

UTMはマレーシア屈指の名門理工系大学。今回の語学研修では、UTMのジョホールバルキャンパス(シンガポールに近いマレーシア南部)にて、本学向けにカスタマイズされた英語研修プログラムに参加します。英語授業は、コミュニケーション・プレゼンテーション等に重点をおいた内容です。このプログラムの最大の特徴は**現地学生(バディ)との交流の機会が豊富なプログラムのため、授業に加え、現地の学生との交流によって、英語力を伸ばすことや交友関係を広げることができます。**(日本人学生1人につきUTMの学生1人がバディとして付く予定です。)



★平日の基本スケジュール

8:00～13:00 英語クラス
13:00～14:00 昼食
14:00～17:00 英語クラス//バディとの交流
17:00～ フリー(バディとの交流)

芝浦の学生1人につき、UTMの学生1人がバディとして付くことが特徴です。

★こんな人にオススメ

- マレーシアに興味がある方
- プレゼンテーション力やコミュニケーション力を短期集中で強化したい方
- 授業だけでなく、現地の学生との交流で英語力を伸ばしたい、また交友関係を広げたいと考えている方

★参加者の声

■短期間のプログラムでしたが、得られたものは非常に大きかったです。リスニング力が向上したという点もありますが、バックグラウンドの異なる友人達とどう物事を進めていくかという国際的な感性を身につけられたことなど、数値化できない学びもたくさんありました。

■このコースの魅力はなんといっても芝浦工大生一人につき現地のUTMのバディが一人つくことだと思います。マレーシアでの行動のほとんどを共にするので必然的に英語力が向上しました。





プログラムカレンダー (23夏休み参考予定スケジュール)

		AM	PM	放課後
Day 1	日	現地到着		
Day 2	月	オリエンテーション・キャンパス見学	英語授業	バディと交流・宿題など
Day 3	火	英語授業	キャンパス散策	
Day 4	水	英語授業	英語授業	
Day 5	木	アクティビティ① ジョホールバル市内観光		
Day 6	金	バディとの自由行動日		
Day 7	土	アクティビティ② Tanjung Piai 岬		
Day 8	日	英語授業	芝浦OB生(マレーシア勤務)による講演	
Day 9	月	英語授業	アクティビティ③ UTM 果樹園	
Day 10	火	文化交流 Malaysia Japan Culture Session		
Day 11	水	学内ラボ見学	最終プレゼン準備	
Day 12	木	最終プレゼン	Closing Party	
Day 13	金	シンガポール半日市内観光		帰国

Instagram

英語で投稿することも授業の一環です。
「#UTMSIT2019」「#UTMSIT」などで検索すると過去のプログラムの記録を見ることができます！



■ Malaysia Japan Culture Session

マレーシアと日本の文化を相互に紹介する企画です。

日本側は伝統的な遊びやパフォーマンス(折り紙や盆踊り、空手など)を紹介し、マレーシアの学生側からはマレーシアの食文化の紹介や伝統的なボードゲームの紹介などが行われ一緒に文化交流を楽しむことができます。

■シンガポール半日市内観光

キャンパスのあるジョホールバルへはシンガポール経由で入出国します。

帰国の際は、最終日にシンガポールへ立ち寄り、定番観光地を巡る半日(8時間)市内観光ツアーがありますので、マレーシアとシンガポールの両方の国を体験できるお得なプログラムです。



マレーシア工科大学コース 参加者の声

高校生の時から英語が苦手でしたが、頑張ってできるようになりたいと思っており、**語学研修があると聞いてこの機会を逃すのはもったいない**と思い参加を決めました。行き先をマレーシア工科大にした理由は**buddy制度**というマレーシアの人が1人ついてくれる制度にととても惹かれたからです。実際**マレーシアの人はみんなとても優しく**、私が言いたいことを理解しようと努めてくれたので、消極的な私も焦らずに話すことができました。
(工学部 機械工学科 1年)

マレーシアでの食事や生活などは、日本と違うところがたくさんあって大変な時もありましたが、それ以上に**とても興味深く貴重な経験になりました**。また、**2週間の英語漬けの生活**を経験して、自分の英語力を把握することができたとともに、まだ力不足であることを痛感したので**今後の英語学習のモチベーションアップ**につながりました。今回の留学をきっかけに、学科や学年はもちろん、**国を超えた友人をつくること**が出来て、**とても充実したものになりました**。本当に参加して良かったと思いました。
(工学部 材料工学科 3年)



アジア×2週間

「成長するアジアで短期集中で英語を学びたい」

「現地の学生とたくさん交流してみたい」

「留学はしてみたいがお金はなるべくかけたくない」という方



奨学金はプログラム参加中に支給されます。「プログラム費用」と記載されている金額のご準備をお願いいたします。

為替の影響などでこの金額を上回った場合にも、大学がその分を補填いたします。下回った場合には、手数料等を除き、その分を返金いたします。

実施大学	実施形態	日程	募集人数	クラス分け	英語力目安 (TOEIC換算)	他国学生との交流	授業での学習時間	アクティビティ の充実度	宿泊形態	通学方法	プログラム費用に 含まれる食事	プログラム費用 (万円)	奨学金 最大額 (万円)	自己負担金額 (万円)
マレーシア工科大学	カスタム 	2/21(水)~ 3/6(火)	60	無	300~ 600	5 ★★★★★	3 ★★★	3 ★★★	大学寮	徒歩・循環バス	平日の朝食	33	7	26
FPT大学	カスタム 	3/3(日)~ 3/17(日)	20	参加者多数 の場合 有	300~ 600	4 ★★★★	3 ★★★	3 ★★★	ホテル(2名1室利用)	シャトルバス	朝食のみ	31	7	24
キングモンクット工科大学	カスタム 	2/4(日)~ 2/18(日)	20	参加者多数 の場合 有	300~ 600	4 ★★★★	4 ★★★★	4 ★★★★	ホテル(2名1室利用)	徒歩	なし	32	7	25



- 募集人数 募集時点で確保している参加可能人数です。募集終了後、多数の応募をいただいた場合は増席する可能性もあります。一方最少催行人数に満たない場合は実施を見送る場合もあります。
- 日程 出国日～帰国日です。実際の利用フライトは各プログラムの説明資料を参照下さい。また**天候等によりフライトが遅延する場合があります。特に帰国日の直後には重要な予定を入れることは避けて下さい。**
- 授業形態とクラス分け 「オープン」は世界各国から集まる留学生との混成クラスで、到着後のプレースメントテストによりレベル別クラスに分かれます。「カスタム」は本プログラム参加学生のみでのクラス編成です。カスタムの場合でも、授業以外の時間（アクティビティや放課後）には他国留学生の交流の機会も設けられていますのでご安心下さい。
- 英語力目安 クラス分けの有無や宿泊形態などプログラムの各要素を踏まえて目安となる英語力をTOEIC換算のレンジで示しています。目安ですので厳密なものではありません。
- 他国学生との交流とアクティビティ充実度 他国学生との交流がどの程度あるかや課外活動のアクティビティがどの程度あるかを5段階で示しています。
- 授業での学習時間 語学研修プログラムでの授業時間数を5段階で示しています。
- 宿泊 **ホームステイは基本的にシングルスティ（1家庭に学生1人）は保証できずダブルスティになる可能性があります（1家庭に学生2名）。ホテル、大学寮、コンドミニウム等では、1部屋を2～4名でシェアします。**
- 通学 通学時間は平均的には25～40分程度です。ホームステイの場合、ステイ先の家庭によっては1時間以上かかることもあります。徒歩と記載の場合は10～19分程度のイメージです。
- 費用 「プログラム費用」は渡航前に旅行代理店にお支払いいただく金額です。「奨学金最大額」は成績要件を満たした場合に受け取れる奨学金です（支払いはプログラム中、又は終了後）。差額を「自己負担金額」として目安のために表示しています。